

9 / 15

### 智恵文小で収穫祭



全校児童30人が、大切に育て9月12日に収穫したばかりのジャガイモ、ニンジン、タマネギ、アズキで作ったカレーライスとようかんを智恵文友朋学級の学級生およそ20人に振る舞いました。

みんなでいただきますをして児童が作った料理を堪能。

9 / 16

### 中名寄小で稲刈り



全校児童18人が同校学校田に植えた「はくちょうもち」の稲を鎌を使って1束ずつ丁寧に刈り取りました。その後、保護者のコンバインで脱穀をし、もみ付きでおよそ30キロのもち米を収穫しました。

今回収穫したもち米でもちつきを予定。

9 / 17

### 長寿を祝う会



平成28年度の名寄市長寿を祝う会が市民文化センターで開催され、白寿(99歳)、米寿(88歳)を迎えた方、金婚(結婚50年)を迎えた夫婦それぞれに記念品が贈られました。

長寿をみんなで祝福。

PICK UP

### バイアスロン 海外派遣選手に永井さんが選出

陸上自衛隊第3普通科連隊に所属する永井順二さん(名寄市出身)がバイアスロン海外派遣選手に2年連続で選出されました。バイアスロン競技選手を専門に育成する自衛隊体育学校冬季戦技教育隊以外からの海外派遣選手の選出は、近年では永井さんのみ。永井さんは第28回サマーバイアスロン日本選手権(9月28日から10月2日・開催地札幌市)で総合4位の好成績を収め、派遣選手に選出。海外派遣にあたり、永井さんは「ワールドカップで好成績を残し、札幌で行われる冬季アジア大会に出場し、北海道の皆さまに観戦してもらえようがなおります」と意気込みを述べていました。



バイアスロンとはクロスカンントリースキーとライフル射撃を組み合わせた競技のこと。

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

9 / 16

### 幼年消防防火 フェスティバル



スポーツセンターで開催され、市内の幼年消防クラブ11団体282人の子どもたちが参加。防火の誓いをみんなで再確認したあと、子どもたちは放水体験や煙中体験などを行いました。

楽しみながら防火の意識を高める。

## 9/24 第29回なよろ健康まつり



総合福祉センターで開催。内臓脂肪や筋肉率など体の組織・成分を測定する「体内健康測定」や「骨密度測定」などが行われ、多くの市民が自らの健康意識を高める機会となりました。

健康に関するさまざまなコーナーを設置。

## 9/24 チームチャレンジ NAYORO2016



スポーツセンターで開催され、今年は市内の小中学校から104チーム約750人が参加。ロープジャンプ競技が行われ、参加者たちは1回でも多く飛ぼうと息を合わせてジャンプしていました。

息を合わせてジャンプ!

## 10/1 よろーな秋の収穫祭



駅前交流プラザ「よろーな」で開催。会場では、やさい詰め放題選手権やライブなどのステージイベント、販売コーナー、試食ブースなど名寄の秋を楽しめるイベントとなりました。

名寄の秋の味覚を楽しむイベント。

## 9/27 風連中央小2年生が農業体験



児童18人が東風連地区の神田勇一郎さんの協力により、農業体験をしました。「かぜのかおりピーマン」の収穫、袋詰め作業を体験したほかピーマンについてたくさんのことを学びました。

このほかに寒締めホウレンソウやもち米などの栽培のよつすも見学。

## 10/4 天文台50センチ望遠鏡の愛称決定



市立天文台に設置されている口径50センチ反射式望遠鏡の愛称が「きたてらす」に決定。この日、命名者の渡辺弘規さん(美深町在住)に村上台長から認定書と記念品が手渡されました。

137件の応募の中から選ばれた愛称。

## 10/1 第47回みんなの消費生活展



駅前交流プラザ「よろーな」で行われ、省エネなど環境問題や食生活に関する展示コーナーやフリーマーケット、地場産野菜販売コーナーなどが設けられ、多くの市民が訪れていました。

名寄市消費者協会が主催のイベント。

10/14

## 第48回がん予防道民大会



市民文化センターE・N・RAYホールで開催。公益財団法人北海道対がん協会常務理事でセンター長の山口由美子さんの講演や落語家の桂枝光さんの健康講話が行われました。

がんに関する正しい知識の普及を図ることを目的に開催。

10/7

## 小中学生音楽発表会



市民文化センターE・N・RAYホールで開催され、全2部に分かれて市内の小中学校12校の児童・生徒たちがそれぞれ合唱や合奏を披露。会場へ訪れた保護者や関係者からは拍手が送られていました。

PICK UP

## ウィンタースポーツコンソーシアム

10月14日(金)から16日(日)にかけて冬季スポーツの拠点化を目指す本市で、ジュニア選手の育成・発掘事業として「ウィンタースポーツコンソーシアム競技会」が開催されました。同事業は日本スポーツ振興センターから北海道へ委託された事業で、今回北海道をはじめ秋田、岩手、山形から書類選考で選ばれた66人の中高生が参加。初日(14日)には、開会式のあと、バイアスロンの事前講習会と佐藤愛子さん(北京五輪女子柔道57キロ級出場)と山部佳苗さん(リオ五輪女子柔道78キロ超級銅メダリスト)によるオリンピック講演が行われ、2日目(15日)には午前健康の森で射撃競技とローラースキー競技(パワー系レース)、午後名寄自動車学校でローラースキー競技(テクニカル系レース)を実施。最終日(16日)には、市内の商店街(5丁目・6丁目)を舞台に、速さを競うローラースキー競技(スプリント系レース)を開催し、66人の参加者はコースの外から応援する多くの市民の声援を受けながら商店街を駆け抜けました。



市内からは三上岳瑠くん(名寄高校3年)、三上玲央くん(名寄東中学校3年)、三上琢真くん(名寄東中学校2年)が出場しました。

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。